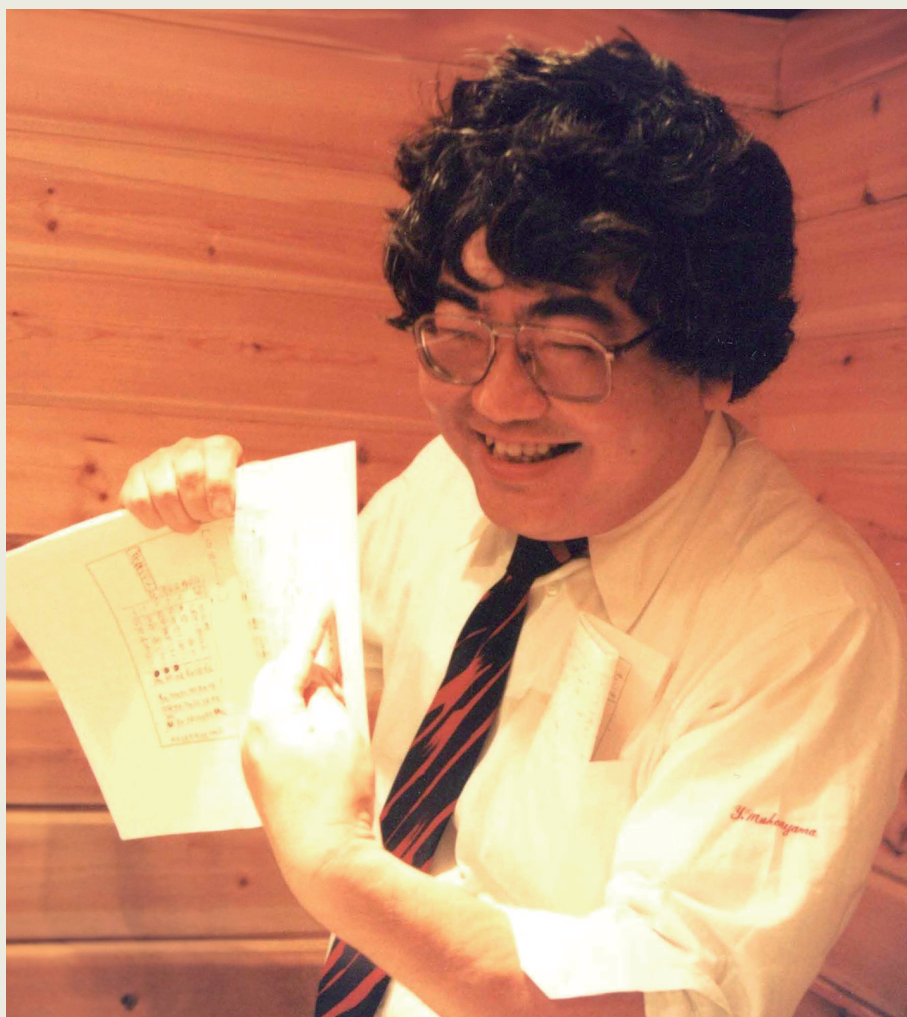


教育

新宝島

1993.4.22

6年授業参観
「詩文の授業」



特典
向山洋一教育資料

No. 01

2023
DEC.

本資料について

授業参観は、親が参観にするという特別な授業だ。

親は「我が子」の姿を見にくる。

向山洋一氏は、

教師はどの子も活動できるように場を設定すべきである。

という。

では、どのようにして、

「どの子も活動できるような場を設定」すればよいのか。

1993年4月、向山氏は、六年生の参観授業で「詩文の授業」を行った。

今日は、この参観授業の

(1) 「詩文の授業」音声

向山授業音声 VA-A-26B

(2) 「詩文の授業」文字起こし・解説

向山実物資料 A09 ②-26-01

を中心にお届けしたい。

子どもだけでなく、保護者までも一気に授業に巻き込む組み立て。

文字だけでは、伝わりにくいリズムとテンポ。
どの子も活躍の場が保障される微細技術…。

学びは尽きない。

なお、本冊子には、上記の他にも

(3) 向山洋一『向山型国語教え方教室』

2013年6月号〈巻頭コラム〉

向山実物資料 XC01-201306-73

(4) 向山洋一『教室ツーウェイ』

1994年6月号〈ミニ特集〉

向山実物資料 XA04-199406-115

(5) 向山洋一『教室ツーウェイ』

1990年10月号〈特集〉

(6) 向山洋一『教育トークライン』

2018年12月号〈巻頭論文〉

向山実物資料 XD01-201812-504

(7) 長谷川博之氏による解説

が収録されている。

授業音声はこちら



<https://vimeo.com/891078878/8b23314718>

向山洋一氏は、次世代を担う若い先生方のために、20万点を超えるさまざまな実物資料を残した。これらの一部を、メルマガ「谷和樹の教育新宝島」の特典資料として、会員限定で公開する。

● 向山洋一の教育資料を解説付きPDF冊子にして毎月一回配信（30ページ前後）

● 向山洋一の未公開映像・音声を年6回以上配信（不定）

1993年4月22日実施

向山洋一の授業日誌

— 6年授業参観・詩文の授業 —

1. 口の体操
2. 雨ニモマケズ
3. 君死にたまふことなけれ
4. 平家物語
5. 曾根崎心中
6. 小諸なる古城のほとり
7. お 経
8. あいうえお

向 山 洋 一

(構成・板倉弘幸)

一、授業の概要

1. 本授業日誌は、「授業参観の授業」(国語)の記録である。どの学年でも追試可能である。この授業について、「ツウウェイ」の誌面で、一部私の考えを紹介した。

さて、私は授業参観の授業は普段のままでいいという考えに反対である。授業参観は、親が授業を見に来ているという特別の場合であり、当然ながら違った要素が入っている。

例えば、テストの間違い直しを二時間見ても、満足する親がいるとは思えない。親は「我が子」の姿を見にくるのである。

他人の子はどうでもいい。我が子がしっかりやってくれていればいいのである。従って、教師はどの子も活動できるように場面を設定すべきである。

その時間に失敗した子がいたら、その時間の中でカバーしてやるよう配慮すべきである。普段なら、そのカバーは次の時間でもいいだろうが、授業参観のときはそうはいかない。

この授業は、私としては、けっこう楽しく授業できた時の記録である。テープをそのままおこしてある。

「ツウウェイ」に載った最初の授業のテープおこしが大変好評だったので、授業参観をそのまま再現してみた。

2. さて、教材は「音読集やまびこ」(光文書院)である。

いくなれば市販の詩文集である。

通常私は、暗唱させる詩文を板書してノートにうつさせる授業をする。それを子どもたちが、文集などに作りあげるときもある。

今回、はじめて市販の「詩文集」を使ってみた。なかなか、いい作品が入っていたからである。

授業参観ではできる限り多くの作品をとりあげ、バラエティーに富んだ授業にしてみようと思った。

3. こうすることによって、いろいろな子どもが活躍できると思ったのである。

最初、教科書新出漢字の「空書き」を行った。「まわれ右をさせて、参観

の父母に向かって字を書かせる。こうすると、参観者は「我が子」をじっと見ることになる。あわせてクラス全体の「書きとり」の水準も分かる。

自分の子が「漢字の書きとり」という、昔から伝わる「勉強」をどのくらいやっているか一目でわかる。

国語の授業参観では、はじめにこれをやる。ユーモアあふれる感じでやるのがいい。

「これ以上やるとボロが出るから、黒板を向きましょー」などと言うと、笑いがみえる。

次に、早口ことばを一人一人全員に言わせた。早口ことばが十八ほどあるので、これが可能だった。もちろん、一人一人の声を聞いてもらうためである。

三番目に、これまで学習してきた「雨ニモ負ケズ」の暗唱をさせている。中には少ししかできない子もいる。

およそ半数の子は、全部暗唱できる。

ついで、五年の時の「君死に給ふことなかれ」も復習した。多くの子が、暗唱できているので、中にはびっくりした親もいることだろう。

更に「平家物語」「曾根崎心中」などの復習もした。次に、詩文集に出ている「小諸なる古城のほとり」をとりあげた。

しかし、すでに、暗唱している子もいてびっくりした。こういう場面を、とりあげるのも大切なことだ。

その次に「お経」のように読む詩をとりあげる。このような「面白いのが好きだ」という子もいるのである。

次に「あいうえお」をとりあげ「ひゃひゅひよ」「みやみゆみよ」の授業に入った。

ここがメインである。盛りあがって授業が終了となった。

実は、このほかに「群読」「パロディ」の授業も準備していたが割愛した。さすがにこれまで入れるのは時間的に無理である。

参観者は教室にぎっしりである。廊下にも出ている。お父さん方もいるし、おばあちゃんもいるし、見知らぬ人もいる。

授業が終わったときはいろいろである。ため息が出ることもあるし、笑いで終ることもあるし、拍手が起ることもある。

この授業は速いテンポで楽しい授業だった。

二、教材

① 筆順練習の漢字

幼（五画）、暮（十四画）、呼（八画）、筋（十二画）
 窓（十一画）、視（十一画）、並（八画）、濟（十一画）
 供（八画）、映（九画）、存（六画）、朗（十画）
 批（七画）、乳（八画）、幕（十三画）、亡（三画）

② 音読集 5・6年「やまびこ」（光文書院）

資料 1・2・6・7・8

向山学級暗唱「詩文集」（東京教育技術研究所）

資料 3・4・5

資料 1

口の体操

- 1 医者いしやと石屋いしやを、言いいちがえないようにお言いい。
- 2 川上かわかみからの川風かわかぜで体からだがさかさになった、きゃしゃな
かっぱ。
- 3 長ながつたらしい長話ながはなしになやまされ、生なまあくび。
- 4 神田鍛冶町かんだかじちやうの角かどのかんぶつ屋やのかちぐりは、かたく
てかめなす。
- 5 心こころこそ心を計はかる心こころなれ、心こころのあだは心こころなりけり。
- 6 親おやがもが生米なまごめかめば、子こがもが小米ここめかむ。

- 7 親おやがめの背せ中に子こがめを乗のせて、子こがめの背せ中に孫まご
がめ乗のせて、孫まごがめの背せ中にひ孫まごがめ乗のせて、親おや
がめこけたら、子こがめ孫まごがめひ孫まごがめ、みなこけた。
- 8 となりの客きやくはよくかき食くう客きやく、向むここの客きやくもよくか
き食くう客きやく、うちの客きやくもよくかき食くう客きやく。
- 9 乳牛にゅうぎゆうからは牛乳ぎゆうにゅうをとり、肉牛にくぎゆうからは牛肉ぎゆうにくをとる。
- 10 京きやうの三十三間堂さんじゅうさんじゅうさんじゅうの仏ぶつの数は、三万三千三百三十三体
あると言いう。
- 11 諏訪湖すわいこですべり、須磨すまで水泳すいえいをし、隅田川すみだがわの筋向すぢむか
うですもうをする。
- 12 桜さくらさく桜さくらの山やまの桜花さくらばな、さく桜さくらあり散ちる桜さくらあり。
- 13 春分しゅんぶんの日ひと秋分しゅうぶんの日ひの新しん聞ぶん。
- 14 なせばなり、なさねばならぬ何事なにごとも、なさぬは人の
なさぬなりけり。
- 15 裏庭うらにわには、二羽にわにわとりがいる。
- 16 どじょうによろによろ、三みによろによろ、合あわせて
によろによろ六むによろによろ。
- 17 すももももも、ものうち。
- 18 やしの実みをししが食くい、ひしの実みをひひが食くう。

資料 2

雨ニモマケズ

宮沢賢治

雨ニモマケズ
 風ニモマケズ
 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
 丈夫ナカラダヲモチ
 欲ハナク
 決シテイカラズ
 イツモシズカニワラッテイル
 一日ニ玄米四合ト
 ミソト少シノ野菜ヲタベ
 アラユルコトヲ
 ジブンヲカンジョウニ入レズニ
 ヨクミキキシワカリ
 ソシテワスレズ
 野原ノ松ノ林ノカゲノ
 小サナ萱ブキノ小屋ニイテ
 東ニ病氣ノコドモアレバ
 行ッテ看病シテヤリ
 西ニツカレタ母アレバ
 行ッテソノ稲ノ束ヲ負イ
 南ニ死シソウナ人アレバ
 行ッテコウガラナクテモイイトイ
 北ニケンカヤソシヨウガアレバ
 ツマラナイカラヤメロトイイ

資料 3

君死にたまふことなかれ

与謝野晶子

ああ弟よ君を泣く。
 君死にたまふことなかれ。
 末に生れし君なれば
 親のなさけは勝りしも、
 親は刃をにぎらせて
 人を殺せと教へしや、
 人を殺して死ねよとて
 二十四までを育てしや。

ヒデリノトキハナミダヲナガシ
 サムサノナツハオロオロアルキ
 ミンナニデクノボウトヨバレ
 ホメラレモセズ
 クニモサレズ
 ソウイウモノニ
 ワタシハナリタイ

資料 4

平家物語

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常
 のひびきあり
 沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理
 をあらわす
 おごれる人も久しからず、唯春の夜
 の夢の如し
 たけき者も遂にはほろびぬ
 偏に風の前の塵に同じ

資料 5

曾根崎心中

近松門左衛門

この世のなごり
 夜もなごり
 死に行く身をたとふれば
 あだしが原の道の霜
 一足づつに消えて行く
 夢の夢こそあわれなれ。

資料 6

小諸なる古城のほとり

島崎藤村

小諸なる古城のほとり
 雲白く遊子悲しむ
 緑なすはこべは萌えず
 若草もしくによしなし
 しろがねのふすまの岡辺
 日に溶けて淡雪流る
 あたかき光はあれど
 野に満つる香も知らず
 浅くのみ春はかすみて
 麦の色はつかに青し
 旅人の群れはいくつか
 畠中の道を急ぎぬ
 暮れ行けば浅間も見えず
 歌かなし佐久の草笛
 千曲川いざよふ波の
 岸近き宿のほりつ
 濁り酒濁れる飲みて
 草枕しばしなぐさむ

資料 7

お 経きょう

阪田寛夫まいたひろか

電 車 馬 車 自 動 車
 人 力 車 力 自 転 車
 交 通 地 獄 通 勤 者
 受 験 地 獄 中 高 生
 合 唱 練 習 土 曜 日
 空 腹 帰 宅 晩 御 飯

資料 8

あいうえお

まど・みちお

あいうえおは あおいでいる
 あおい うちゅうの あおい うえを
 かきくけこは かたくて こちこち
 かきっこ くきっこ かむ けいこ

さしすせそは すずしそう

さやさや そよそよ ささ すすき

たちつてとたち たてついでた
たてと ついたて つつたて

なにぬねのはね ねないのね
なきの なみだに ぬれながらにね

はひふへほはん はなはずかしい
はひひ ふへへ ほほが はれて

まみむめもは もう むやみに ねばつく
もつちり むつちり あめまみれ

やいゆえよは やわいようよ
ぶよぶよ ぶゆぶゆ やわやわよ

らりるれろなら ろれつが もつれる
らるりり れろりり ろれろれる

わあうゑをは おおさわぎ
わいわい わやわや てんやわんや

三、授業記録

一、筆順練習のおさらい

では六年生で最初に習った漢字を書けるかどうかやってみましょう。幼稚園の「幼」、サンハイ。

全 イーチ、ニー、サン、シーイ、ゴ（と言いながら、空書き。以下同じ）

ハイ、日が暮れるの「暮れる」。

全 イチ、ニ、サン、シ、ゴ、ロク、ナナ、ハチ、ク、ジュウ、ジュウイチ、ジュウニ、ジュウサン、ジュウシ、名前を呼ぶの「呼ぶ」。

全 イチ、ニーイ、サン、シ、ゴ、ロク、ナナ、ハチ。

首筋の「筋」。

全 イチ（途中略）ジュウニ。

後ろから見てると顔が見えないから後ろを向いてもらおうかな。

C いやーん。

「窓」、サンハイ。

全 イチ（略）ジュウイチ。（そろわな子あり）

アラ、アハハ、ハイ視るといふ字、視界が開けるの視界の「視」。

全 イチ（略）ジュウイチ。

そうやって書いていると、まちがえて書いている子をさがしだすですね。きょうは、さがしださないから。では、

一列に並ぶの「並ぶ」、サンハイ

全 イチ（略）ハチ。

用事を済ます、経済の「済」、サンハイ。

全 イチ、ニ（略）ジュウイチ。

何となく書いてるなあフフフ…、子供の「供」、サンハイ。

全 イチ（略）ハチ。

S君、後から入ってきたね。もう一回やっごらん、サンハイ。

C イチ、ニ（略）ハチ。

よかったですね（やさしく）「鏡に映る」

C え、どっち。

もう一回言います。鏡に映るの「映る」、サンハイ。

全 イチ（略）キュウ。

ハイ、存在するの…「存」、サンハイ。

全 イチ（略）ロク。

このぐらいまでやってくるとできるのはつきりしてきますね。長い詩を朗読するの「朗」です、サンハイ。

全 イチ（略）ジュウ。

人のことを批判するの「批」、サンハイ。

全 イチ（略）ナナ。

H君、どういう字か分解して説明して下さい。漢字というのは分解して伝えられることが大事ですね。

C 「お」（てへん）に、ヒを二つ。

「ま」てへんに「比べる」といふ字だね。ではもう一回、サンハイ。

全 イチ（略）ナナ。

牛乳の「乳」、サンハイ。

全 イチ（略）ハチ。

幕を開けるの「幕」、サンハイ。

C イチ（略）ジュウサン。

交通事故で死亡するの「亡」、サンハイ。

C イチ（略）サン。

もう一度。最後、幼稚園の「幼」、サンハイ。

C イチ（略）ゴ。

これが六年生で最初に習った字ですが、みんなできそうですね。もう一度、サンハイ。

C イチ（略）ゴ。

さっきあやしかったですね、「窓」、サンハイ。

C イチ（略）ジュウイチ。

二、「口の体操」で早口言葉

「よかったですね。ポロが出ないうちで」。今日の国語の勉強はね、六年生になって買ったこの『やまびこ』という詩集：（参観者に）後ろにたくさん置いてありますので、お二人で一冊ぐらい、とって回りにお配り下さい。（お母さん方詩集を配る）（しばらくの間あり）

いろいろな（がやがやしている）ハイ、口を閉じて。姿勢をよくしなさい。（やさしく言う）「Tちゃん」、「U君」そう。（全体静かになる）

いろいろな詩が出てきますから、一つの詩で一時間やるんですが、きょうはお母さん、お父さんも来ていますので、さわりだけをパーツとやっていってみましょう。ね

最初、6頁と7頁をあけてください。（資料1）

「口の体操」っていうのがありますから。

C 何頁ですか。

6頁と7頁って言うてから「何頁ですか？」ってきくんですね。（笑い）

（声を落として）6頁と7頁です。

それでは、二人ずつ読んでもらいましょうかね。○○さん1番。

C₁ 医者と石屋を、言いまちがえないようにお……。

C₂ ちがうよ！。

C₁ 言いまちがえないようにお言い。

はいT君、同じ1番です。

C 医者いしやと石屋いしやを、言いまちがえないようにお言い。

ハイ、○○さん2番目いきます。

C 川上からの川風で体がさかさになった、きしゃなかつば。

C きしゃじゃなく、きしゃだよ。

きゃしゃなかつば、はい、○○君。

C 川上からの川風で体がさかさになった、きしゃなかつば。

（次に読む子に対し）で、3番目練習してるんでしょ、じゃ4番目のところ読んでください。（笑い）

C 神田鍛冶町かみたかじまちの角のかんぶつ屋のちがぐりは、かたくて

かめない。

じゃようずですね。はい次、4番。

C 神田鍛冶町の角のかんぶつ屋のちがぐりは、かたくてかめない。

ハイ、ではもどって3番め。

C 長ったらしい

長ったらしいですか。

C 長ったらしい長話になやまされ、生あくび。

今度、ここにいこうと思ったんですが（一人とぼして）こ

ちらのS君、はい。

C 5ですか、「心こそ心を計る心なれ、心のあだなは心

なりけり」（とスラスラ読む）

C あだなじやなくて心のあだだよ。

少しくらいのまちはいいんですよ。はい、次（笑い）

C 親がもが生米かめば、子がもが小米かむ。

こりやむずかしいですね。わかんないところが。はい次、

M ちゃん。

C 親がもが生米かめば、子がもが小米かむ。

こりやじょうずだね、次。

C 親がもが生米かめば、子ども：（ウフフ）親がもが生

米かめば、子がもが小米かむ。

全
オーッ

こういうのはあまりまちがってもはじじゃないからいいで

すね、はい次、長いね。7番

C₁ 親がめの背中に子がめを乗せて、子がめの背中に孫が

め乗せて、孫がめの背中にひまごめが：（アハハッ笑い）

アレ、ひまごが・

C₂ ひまごがめ

C₁ ひまごがめ乗せて、親がめこけたら、子がめ、孫がめ

ひ孫がめ、みなこけた。

はい、Uさん。

C 親がめの背中に子がめを乗せて、子がめの背中に孫が

め乗せて、孫がめの背中にひ孫がめ乗せて：（言葉につ

まる）

親がめこけたら（と助ける）

C 親がめこけたら：（またつまる）

みんなで、ちょっとこれ長いですから7番全部やって、で

きるだけ早くね（早口で）サンハイ。

全 親がめの背中に子がめを乗せて：（ばらばらになりほ

とんどそろわず室内騒然とする）

C できない！

何となくここらへんでA君早いような感じがしたけど、A

君できるだけ早く、よーい。

C まちがえるかもしれない。

いいの、まちがえても、サンハイ。

C 親がめの背中に——（早いが途中何か所かつつかえ

ながら最後まで言う）

だれかやってみたい人いますか、挑戦、いいですか、じゃY

さん。

C 7番、親がめの背中に子がめを乗せて、子がめの背中

に孫がめを乗せて：

C え、「を」？

（を）はちがうと、正しいことを言ったんですけど、そう

いうことは気にしないでいいから、はいどうぞ。

C 孫がめの背中にひ孫のせて、親がめこけたら、子がめ

まごが、（アハハ…）

C 「子がめまご」じゃないんだよ。

C 子がめ、ひまごめが：（笑いアハハ…）

あせっちゃうよね。ハイ、次8番行きます。

C となりの客はよくかき食う客。

そこまでいいや。はい次の人、今のところ。

C ここ、となりの客はよくかき食う客。

ハイ、では全部続けて〇〇さん。

C となりの客はよくかき食う客、向こうの客もよくかき

食う客、うちの客もよくかき食う客。

これはあつてるみたいだね。では次、Y君。

C 8番 (省略、以下同様)

はい、H君9番。

C 乳牛からは牛乳をとり、肉牛からは牛肉をとる。

ハイKさん、おなじ。

C 9番

ハイ、10番(次の子に)U君。

C 京の三十三間堂の仏の数は、三万三千三百三十三体あ

ると言う。(少々つかえながら)

できるだけ早く言う。はい、けむりがでるようなスピード

で、ヨーイはい。

C 10番 (少し早くなる)

はい、Eさん。

C 10番 (小さな声)

京都にね、三十三間堂という大きなお寺かな、ズラァッと

長い所に仏さんが並んでいるの、その目の前にわらじ屋さん

というぞうすい：まあ、どうでもいいやそりゃ(笑い)何か

つてね。

C えー、なになに。

(笑いながら)うなぎのぞうすい屋さんがあるんですよ。

三百年続いたっていうお店でね、とつてもおいしんです。み

んないずれ行ったら、三十三間堂の目の前にあるから、先生

大好きなお店なんですね。はい次、Tちゃん11番。

C 諏訪湖ですべり、須磨で水泳をし、隅田川の筋向こう

ですもうをとる(だんだん声小さく)あ、すもうをする。

須磨って、何県ですか。

C 兵庫県です。

ついでに諏訪湖って、何県ですか。

C 長野県。

隅田川は？

C 東京都。

東京都ですね。隅田川、昔何て言ってたか知ってますか。

C 神田川？

神田川じゃないですね、大川っていうんですね。はい、その

次、12番。

C 桜のさく桜の山の桜花、さく桜あり散る桜あり。

「桜のさく」じゃないんだな。

うん？——Mちゃんぬかしちゃってごめんなさいね。先

生、二年にいったんくらいまちがえるんです。

C 先生ー、きのうも。

うん、きのうから二年たっているんです。(笑い)はいM

ちゃん、ヨーイハイ。

C 春分の日と…

あ、そこ練習してたのね、12番。

C 桜さく桜の山の桜花、さく桜あり散る桜あり。

はい、じゃ〇〇君、13番。

C わかんない。
わかんない、はい、いいですよ。

三、詩文の暗唱

それでは、この中で出てくるので暗唱してもらったの
がありますね。雨ニモ負ケズです。74頁です。(資料2)

C (雨ニモ負ケズ口々に言いはじめる) 覚えてない。

じゃ全員起立。はい見ない、なんとなく口を開けて、
後ろをむいて、(エー) はいヨイスタート。

全 雨ニモ負ケズ

風ニモ負ケズ

雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ

丈夫ナカラダヲモチ

欲ハナク

決シテイカラズ

イツモシズカニワラッテイル

一日に玄米四合ト

ミソト少シノ野菜ヲタベ

アラユルコトヲ

ジブンノカンジ ヨウニ入レズニ

ヨクミキキシワカリ

ソシテワスレズ

野原ノ松ノ林ノカゲノ

小サナ萱ブキノ小屋ニイテ

東ニ病氣ノコドモアレバ

行ッテ看病シテヤリ

西ニツカレタ母アレバ

行ッテソノ稲ノ束ヲ負イ

南ニ死ニソウナ人アレバ

行ッテコワガラナクテモイイトイ

北ニケンカヤンシヨウガアレバ

ツマラナイカラヤメロトイイ

ヒデリノトキハナミダヲナガシ

サムサノナツハオロオロアルキ

ミンナニデクノポウトヨバレ

ホメラレモセズ

クニモサレズ

ソウイウモノニ

ワタシハナリタイ

じょうずですわー(拍手おきる)オー

はい、こちらを向いて。(子ども着席)

文章がね上手になる、いい文が書けるためには、じょうず
な文、いい文をたくさん覚えるといいんですわ。暗唱すると
いいですね。それも小さいうちに。エー5年生のときもい
くつかの文章を暗唱しました。どんなのがありましたっけ。

C 君死にたもうこと:

与謝野晶子の「君死にたもうことなかれ」ありましたっけ
ね。それだれか言える人ありますか。(資料3)

はい、じゃUさん、言ってみて下さい。

題名から全部言ってみて下さい、はい。

C 君死にたまふことなけれ 与謝野晶子

ああ弟よ君を泣く。

君死にたまふことなけれ。

末に生れし君なれば

親のなさけは勝りしも、

親は刃をにぎらせて

人を殺せと教へしや、

人を殺して死ねよとて

二十四までを育てしや。

そうでしたね、はい、あと平家物語なんかもありましたね。

ちよつとむずかしい文でしたけどもね。(資料4)

C あれ、覚えてるよ。

C 何だったけかな。

はい、ちゃんとした意味がわかるようになるまで、もうち

よつと言えますか。じゃH君いきますか、サンハイ。

C 祇園精舎の鐘の声、諸行無常のひびきあり、沙羅双樹

の花の色、盛者必衰の理をあらわす

C あれ、そこまででしょ…

忘れちゃうよな。はい。

はい、全員でやればなんとかなるかもしれないから、サン

ハイ。

全 祇園精舎の鐘の声、諸行無常のひびきあり、沙羅双樹

の花の色、盛者必衰の理をあらわす、おごれる人も久し

からず、唯春の夜の夢の如し

たけき者も遂にはほろびぬ

偏に風の前の塵に同じ

はい、そうですね。

C え、ちがうよ、たけきもの(がやがや)

はい、次にぐつと下って江戸時代まで、曾根崎心中の出だ

しが、(資料5)

あー途中からわかりませんか、わかりますか?

途中からわかりませんか? 途中でわかりますか、じゃO

君やってごらんさい。

C 曾根崎心中 近松門左衛門

この夜のなごり、夜もなごり、死に行く身をたとふれ

ば、あだしが原の道の霜、一足ずつに……:そこかわ

かんない。

消えて行く。

C 一足ずつに消えていく、夢のあわれ……

夢の、夢こそあわれなり、ですね。

四、新しい詩文を暗唱する

はい、それではね、今、みんながもっている中の80頁
を出してください。(資料6)

C 小諸なる——、(口々に)

先生読んでみますからね、ついて読んでみてください。

小諸なる古城のほとり、ハイ、サンハイ。

全 島崎藤村

全

小諸なる古城のほとり

全

雲白く、遊子悲しむ

全

緑なす、はこべは萌えず

全

若草も、しくによしなし

全

しろがねの、ふすまの岡辺

全

日に溶けて、淡雪流る

全

あたたかき、光はあれど

全

野に満つる、香も知らず

全

浅くのみ、春はかすみて

全

麦の色はつかに青し

全

旅人の群はいくつか

全

畠中の道を急ぎぬ

全

暮れ行けば、浅間も見えず

全

歌かなし、佐久の草笛

千曲川、いざよふ波の

全

岸近き宿につほりつ

全

濁り酒、濁れる飲みて

全

草枕、しばしなぐさむ

全

この詩も卒業までに覚えてもらおうと思っております。

(子どもたち、「ゲエ、ゲエ」)

あのーさんはなんか見ないで言ってたみたいですが、よくわかるもの？ 言えますか、言ってみて、サンハイ。

C1 小諸なる古城のほとり 島崎藤村

小諸なる古城のほとり、雲白く遊子悲しむ、緑なすはこべは萌えず、若草もしくによしなし、しろがねのふすま

の岡辺、雲白く遊子悲しむ、え!?(自分で気づく)

C2 日に溶けてじゃない。

うん、日に溶けて、はい。

C1 あたたかき光はあれど、野に満つる香も知らず、浅く

のみ春はかすみて、麦の色はつかに青し、旅人の群れは

いくつか、畠中の道を急ぎぬ、暮れ行けば浅間も見えず、

歌かなし佐久の草笛、千曲川いざよふ波の、岸近き宿に

のほりつ、濁り酒濁れる飲みて、草枕しばしなぐさむ。

すげエーフフフ…(拍手)

他 すげエー

はい、すごいね、じゃむずかしいのをやったところでやさ

しいところをいきましよう。『あいうえお』とお経？じゃお経
やりたいという子がさつきから待望していますから、（ちょ
っと待って下さい）はい、じゃ10頁の「お経」というところ
を出して下さい。こういう詩もあるんですね。

10頁、はい、これは、電車馬車自動車、人力車力自転車と
ふつうに読んでもらいます。ねえ今みたいに、サンハイ。

（資料7）

全 電車、馬車、自動車

人力車力自転車

交通地獄、通勤者

受験地獄、中高生

合唱練習、土曜日

空腹、帰宅、晩御飯（ふつうに読んでいく）

と、これだけのことですがね、読み方によってお経みたい
にきこえます。これが好きな人がいますので、やってみら
いましょうか。

全 でんじゃあばあじやじいどうじゃあ

じんりきしゃりきじてんしゃあ

こうつうじいごくつうきんしゃあ（ボンと口で擬音を

入れる子がいる）

じゅうけんじいごくちゅうこうせえ（チン）

がっしょうれんしゅうどうようびい（チン）

くうふくきいたくばんごうはあん（チン）

丁君は、これ見ないで言えますか。いらっしやい、そのま
までいいよ、サンハイ。

C でんじゃあばあじやあ （声を落としている）

（途中略）

ばんごうはあん

はい、じょうずですねえ。これがあるってみたいですね。
詩はいろんなタイプがあって、自分にあるのかあり
ますね。その前の頁あけてごらんさい、8頁、9頁。

五、「あいうえお」の詩と五十音

C あいうえお……（つぶやく）

まどみちおのあいうえお、あいうえお、まどみちおつ
て読んで全部いっしょに読んでもらいます。全員でね、
サンハイ。（資料8）

全 あいうえお まどみちお

あいうえおは あおいでいる

あおい うちゅうの あおい うえを

かきくけこは かたくて こちこち

かきっこ くきっこ かむ けいこ

さしすせそは すずしそり

さやさや そよそよ ささ すすき

たちつてとたち たてついでた

たてと ついたて つつたてて

なにぬねのはね ねないのね

なきの なみだに ぬれながらにね

はひふへほはん はなはずかしい

はひひ ふへへ ほほが はれて

まみむめもは もう むやみに ねばつく

もっちり むっちり あめまみれ（笑い）

やいゆえよは やわいようよ

ぶよぶよ ぶゆぶゆ やわやわよ(笑い)

らりるれるるなら ろれつが もつれる

らるりり れろりり ろれるろる

わみうゑをは おおさわぎだわ

わいわい わやわや てんやわんや

はい、〃あいうえお〃を使った詩はたくさんありますね。

北原白秋などともきれいなを作っていますけども、あいうえお、かきくけこと全部言っていて、きゃきゅきょとかね。しゃしゅしょとかね、そういうのを全部あわせるといっつあると思いますか。

あといとうとえとおで五だ(ご)とします。(あ、い、う、え、お(板書)、きゃ、きゅ、きょ(板書)でこれで八だとします。そういうふうに、全部こうたしていくといくつぐらいあるかわかりますか。うん、小学校一年生入ってすぐに習うんですね。

五十。

C あいうえおで五十？

うん、あいうえおだけで、ふつう五十音といいますがね。今、いっしょになっているのがあるからちよっと少ないですね。それに、ぎゃぎゅぎょとか、ひゃひゅひょとかそういうのを足していきます。

えー、ちよっと数え方で少しちがうんですが、百二十三音ぐらいですかね…。そうすると日本の言葉は百二十ちよっと、百二十三ぐらいできています。このぐらいですね。英語とこのは外国語です。どのぐらいのそういう音があると思いますか。

C ?

1000 ぐらい？ 500 ぐらい、これもよく知らないんですけども、調べた人がいましてね、数万こ、だから、なんとか、だから百、千、ここにこう数字が入るのぐらいかもしれませんが、うちよっとここに数字が入るのかもしれない。ですから、日本語ってのは数が少ない音で、英語はたくさん音があるんですね。

そうするとコンピューターなどに、音で音を読みとらせるときにどちらがかんたんですか。

C 日本語。

六、「ひゃひゅひょ」の授業

日本語の方がかんたんですね。百ちよっとしかないんですから。ですから、コンピューターで音を読みとらせるのは日本の方が先にできるんじゃないかなあと、もう20年前ぐらいから言われていたんですね。そこで問題です。わずか百二十三しか日本語にはありませんからその中で、これやったことないですよ、(板書)ひゃとひゅとひょがつく日本語をノートに三つずつ書いてください。

C エー、上ですか。

ノートに、「ひゃ」が上でも下でも途中でいいです。日本語です。お母さん方、お父さん方もよろしかったら挑戦してみてください。おききしてみたいと思います。「ひゃ」がつく言葉が三つ日本語、「ひゅ」がつく言葉が三つ、「ひょ」

がつく言葉が三つ。

C そんなにあるー？

時間は一分間。

C エー

ヨーイ、ハイスタート

(ハハハ……)

日本語です。そうですね、辞書にのってるぐらいの日本語としましょう。

国語辞典にのっているぐらいの言葉。

C 先生、あの音が同じで、意味がちがうのは、同じに入るんですか？

はい、日本語ならいいですよ。

C ひゃはあんだよな——

ノートに五つ書いた人は、出てきて、黒板に一つ書いて下さい。どこでもいいから、はい。

C ひゃひゃひゃ——

わずか百二十三しかない日本の言葉の中ですから、小学校一年生でお勉強するんですから……

C ひょはね——

書けるところは、パッパツと書いて下さいね。

C ——ひゃ〜？

うん、とにかく思いついたの書いていけばいいんです。できないところはめかしといて。

C ——ひょは何ー、ひょ

まだ全部五つ書いてませんか？

C 全部で四つでした。

全部で五こって言ったんですね、どれでもいいから。

C エー全部ですか。

そうだよ、全部、一つにつき五こじゃないですよ、全部あわせてだよ。

C あと一こだよ。

できたら早く書いて下さい。黒板に出てきて、どこでもいいですから一こ書いて下さい。

C これなんだよ、ひゃく。

C ジャ「にひゃく」、「よんひゃく」

は、ハハハ……

あー五つ思いつかないですか、みなさん。

C なんです。

日本語を五こ。

C 人の名前だけど……(がやがや)

板書 (ひょうたん)

C あ、ひょうたんか！

うん。

——問——

C もっと書いていい。

じゃ誰でもいいや、書きたい人出てきて書きなさい。今で来た人は待っててね、書いてない人、はいどうぞ誰でもいいから。

一こだけ書いて。できて、どこでもいいから書いてもら

んなさい。

C (板書) アハハ……

自分のこと書いているみたい。

C ひゅうは……

りようほう書いているのが多いですね。

「ひゃ」は?… はい、「ひゃ」はいえませんか、「ひゃ」は? いいです、いいです。はい。

C 先生、まん中の、

ひゃっくり? エツひゃっくりね、アハハしゃっくりだよ。

C 先生、まん中のひゃですよ。

C 県名とかもひよあるのかな?

C ひゅっていうのは、

いいよ、二ひゃく人、三ひゃく人、何でもいいんだよ。

C 三ひゃく人じゃちがいます。

C ひゃく五とかいうじゃないの。(笑い)

ひゃくしよう、ひゃくえん、ひゃくがらみね。

二ひゃくが多いですね、三ひゃく、四ひゃくもね。

C 三ひゃくはちがいますよ。

あ 三ひゃくはびゃくだからね、二年に一ペンまちがいます。

何!

C 二ひゃく

二ひゃく、ひゃく—

問題はひゅなんですが:「ひゅ」考えついた人いませんか。

C ひゅるりら

はい、考えついた人いますか、はい。

C (ひゅうま) 板書

ひゅうま、星ひゅうまです。

ちよっとまってね、むかし、マンガの主人公で、(板書)

エーとですね、この問題、向山先生、小学校一年生を前に担任したときにね、小学校一年生でやったことがあるんです。

そのとき、大学でも教えていたんです。大学の四年生、千葉大学ですけども、大学の四年生にも百人くらいに出したんです。必ず「先生! 星 ひゅうま」というのが出てきたんです。

C うそ—。

これ、「ひゅうま」ですね。

C じゃ、ほし・ひゅうまっていうの

ま、人の名前でもかまいませんけど。

C いいの—

「ひゅ」いませんか?

C ひゅうひゅう、—

え、子どもたちがギブアップしましたので、お母さん方:

「ひゅう」いかがですか、お父さんも。

C ———しゅしゅ

C ひゅし?

C しゅしだよ。

しゅし、あ、たねのことだね、ひゅし、じゃなくて、しゅしね。はい、お母さん方、お父さん方がですか、「ひゅ」

C 先生、英語じゃだめなの?

え、日本語なんです。ヒューマンだとか、英語で入ると、

ちよっとはいるんですがね、日本語です。

父——ひゅうが、(日向)

ひゅうがですね。

C オ—

ひゅうが小次郎とかですね、

C 昔の国の名前だ。

そう昔の国の名前でひゅうがというのがあります。

C そうだ。

さすが、お父さん、お母さんですね。もういつちょう、あつさつきちよこつと言ってたね、何ていつてましたっけ、ひゅがつく

C ひゅうひゅう

そうじゃない、わすれちゃった。

ひゅうひゅう、とかいおうとしたんだよね。

「ひゅう」と言ってたんですね、これあるんですよ、ひゅう、なぜがひゅうひゅうとしてる「ひゅう」

C わあ、いいのそれ。

これで三つですからもう一こ、六年一組のお母さんたち、お父さんたちの実力はどれくらいかと……

C 先生、すごい、つっこみだよ。

すごい、つっこみ、これ（参観者への挑戦）どこ行ってもやるんですよ。これ多分、ないと思うんですが、でないと思うんですが、えー日本語の言葉を研究するね、すごく有名な大学の先生で、金田一さん、金田一春彦さん、うん、辞書なんか書いている人、その金田一さんが2年半かかって調べて2こしかなかったという、これが、「ひゅうが」となぜが「ひゅうひゅう」もしかしたら、方言であるかもしれませんがね、どっかの地方の、ですからパスです。

それで、もとにもどるよ。あいうえお、かきくけこっていうのは、日本で百二十三ぐらいしかない。その中のひとつが「ひゅ」というのはたった二つしかない日本語で。

?

もう一ついつてみます。「みゃ、みゅ、みよ」です。

C みゃみゅみよ！

それを三つずつ出してみて下さい

C （子どもたち、がやがや） なんみょうほうれん

「みゃみゅみよ」です。一つでもできたら、どうぞ出てきて書いて下さい。

C 人の名前でもいいの？

うん、人の名前でもいいです。

C よし、よし

C あと「どうみやく」というのがあるけど。みゃあみゃあ、なんみょうほうれん（子どもたち板書している）

きみょう、みやく、さんみやく、これはありそうですね。どうみやくとかね。

C 先生、あだ名でもいい？

だめですね。辞書にのっていませんから。で、問題は、こ

ういうふうにやってみるようになる、はい「みゅ」がつく日本語です。

C —— みゅ、みゅ

ミュージックとかね、でも日本語じゃありませんから、日本語です。

C ——

これ、さっき言った金田一先生がさがし回って、これも二年ちよつとかかって一、二こしかさがせなかったって。

C みゅう、みゅう

うん、人の名前です。（板書）

C うんだいず… だいずしょうた、なんだそれ。

これはこういうふうな読み方なんです、豆が生えてる、うえてる田んぼ「まめうだ」だったんでしようが、まめうだが、まみゅうだになってですね、「まみゅうだ」。

C まみゅうだ、まみゅうだ

日本語でね、おおまみゆうだ（大豆生田）といひます。み
ゆうがつく日本語これしかないそうです。でももしかしたらあ
るかもしれないよ、調べたら、方言なんか。

おおまみゆうだ、書いてみて下さい。
ついでに、ひゃも書いて下さい。

（チャイム鳴る）

では、もうちよっといきたかったけど、きょうはここまで
にしましょう。全員起立、じゃ、雨ニモ負ケズをいって終
りにしましょう。全員、回れ右、サンハイ。

全 雨ニモ負ケズ……

（略）

以上、授業を終わります。きょうは、おいそがしいところ
ありがとうございました。

四、授業の解説

1

授業の構成

本授業は、次のように五つの場面から組み立てられてい
ます。

- | | | |
|-----|---------------|-------|
| (一) | 筆順練習のおさらい | (4分) |
| (二) | 「口の体操」で早口言葉 | (14分) |
| (三) | 詩文の暗唱練習 | (10分) |
| (四) | 「あいうえお」の詩と五十音 | (2分) |
| (五) | ひゃひゅひょの授業 | (15分) |

各場面では、次のような配慮がなされています。

- (一) 漢字ドリル帳を使って、空書きをします。一六字の漢字を取り上げていますが、単調にならぬよう、テンポに緩急をつけたり、様々な応答技術をみせます。
- (二) ここでは、一八編の早口言葉を二人ずつ読ませ、正確に、早く読むことに挑戦させます。
また、発展問題として二編、別の問題にもチャレンジさせています。
- (三) 詩文集から暗唱した詩を発表します。「雨ニモ負ケズ」の一斉暗唱が実に見事です。さらには、五年生のときに暗唱した詩を覚えている子の発表もありました。
- (四) これは(五)の「ひゃひゅひょ」の授業にいたる伏線と考えてよいでしょう。
まず「あいうえお」の詩から、日本語の音がいくつあるか考えさせます。それから、「ひゃ」や「みゅ」のつ

く言葉がいくつあるか、検討させていきます。
子どもたちにとっても難しかったらしく、参観の保
護者の方々にも挑戦してもらっています。

2 授業全体の特色

テープ起こしを何回もしながら聴きとっていくうちに、
次の特色を感じました。

- ① スムースな構成
- ② テンポの緩急
- ③ 内容のバラエティ
- ④ 応答のテクニク
- ⑤ 多数の子どもの発言
- ⑥ 参観者の授業参加

① 構成をみてわかるように、漢字の空書き練習から始
り、早口言葉で音読のウォーミングアップ、そして、詩
文の暗唱発表で見せ場をつくりまします。

次に、「ひゃひゅひょの問題を検討させるために「あい
うえお」の詩と五十音をとりあげ、その伏線としました。
無理のない自然に流れていった授業であったように思
います。

② テープ起こしを最後まで終了したときに、また、初め
から通してテープを聴いてみました。すると、導入の五
分間、向山氏の口調がたいへんにゆったりとしているの
に気づきました。

そして、授業が進んでいくにつれて、向山氏の口調は

スピードアップしていきます。ところが「小諸なる」
の詩の読みでは、ゆっくりときかせてくれます。
このように内容だけでなく、語るスピードにも変化を
感じさせました。

③ 授業内容に変化がありました。大きく分けると、次の
三つの要素で構成されているといえます。

- A 空書きによる筆順練習
- B 早口言葉や詩文の暗唱
- C ひゃひゅひょで「考えさせる」

授業を参観して、一番困るのは「何をやっているのか
わからない」授業でしょう。一斉の空書き練習は、その
反対です。親にとってもよくわかるし、子どもたちにと
っても体の一部を動かすわけで、緊張をほぐしてくれま
す。

次は、順番にたくさんの子に読ませていきます。次か
ら次へという感じでした。ただ、このままずっといつた
んでは単調に流れてしまいます。

そこで、「ひゃひゅひょ」の言葉集めを課題として与
え、知的好奇心をくすぐります。考えたり、板書したり
と、子どもたちに、また新しい活動が生まれました。

④ 席の順に、早口言葉を読ませていきます。次の子は、
どこを読むかわかるので自分が読むところをだまって練
習しているのです。向山氏はそんな気持ちを見すかして
か、3番を読むところを「4番読んでね」と予定とちが
うところを読ませます。教室には和やかな笑いが生じま

した。

⑤ 早口言葉は一八編あります。一編を二人ずつ次から次へと読ませていって、すぐに三六人が読めます。また、筆順練習の一斉空書きや、暗唱した詩文の一斉音読などすべての子に活動の機会を与えていました。

⑥ 知的好奇心は子どもにも親にもあります。ちょっぴり高度で知的な問題で、保護者にも授業への参加を仕掛けてます。

さらに、親の答えが二、三こと少ないときは「お父さん、お母さんの実力はどれくらいか」と挑発の感さえみられます。子どもからも「先生、すごいつっこみ！」と言われるほどでした。

3 各場面でのポイント

一、筆順練習にも変化をつける

わずか四分という時間でしたが、その中に五つの工夫がありました。

ア 前を向いていては顔が見えないので、途中から参観者の方に向かって空書きを行う。

イ いつもなら筆順のちがう子を探し出すのだが、「きょうはしません」と笑いをさそっている。

ウ 集中できずに出遅れた子を再度、やり直しをさせ、終わってから「よかったね」とフォローする。

エ 漢字を分解し、要素となる字に気づかせる。漢字の組み立てを他の言葉でも説明、伝達できることの大切

さを教える。

オ 一斉空書きで、ややあやしい書き方をしていた漢字を再度とり上げてくり返し練習する。

二、すぐれた応答のテクニク

ここでいう「応答」とは、子どもと教師とのやりとりという意味です。じっくり考えて反応するのではなく「クイックリスポンス」というものです。

向山氏のとっさの対応が随所に見られました。

ア 同じ早口言葉を二人ずつ言わせる。一人ずつで進むよりは、読みの正確さ、スピードの向上がわかりやすい。

イ 席順で指名すると自分の番がくるまで、前もって練習している場合がある。そこで、予定外の問題を与えたり、一人分とばして別の子を指名したりして子どもにゆさぶりをかける。ほほえましい雰囲気をつくり出してしまおう。

ウ 正確に音読させることを第一義とするが、ときとして、ちょっととしたミスには寛大に接する。

エ 一人の子が言葉につまったとき、向山氏が何度か助言の読みを試みる。それでも読み進めないことがわかると、一斉音読に切りかえてしまった。(このとっさの対応に思わずうなった)

オ 長文の早口言葉を一斉音読させたが、ほとんどそろわないで、教室内が騒然となった。その中から、早口言葉を比較的正確にできた子を発見して、範読させる。

カ 長い早口言葉の場合はむずかしいことがわかるや、次の長い早口言葉のときには、一節ごと区切って言わせている。

キ 早口言葉に出てきた地名（諏訪湖、須磨、隅田川）のある県を言わせて、社会地理の復習をする。（向山学級では五年生のとき白地図プリントを大量に学習しており、その成果が表れる）

ク 「二羽にわとり」「すもも」の早口言葉の発展として、次の早口言葉にも挑戦させている。

（裏庭） （二羽）（庭） （二羽）、
A うらにわにわにわにわにわにわにわにわとりがいる
B 子子子子子子子子子子子子子子子子

三、暗唱した詩文を発表する

前半はこれまでに暗唱した詩文の発表、後半はこれから覚える詩文の暗唱練習をしました。

ア 初めに、「雨ニモ負ケズ」の詩文を一斉暗唱をする。およそ1分ちよつと、よどみなく、スラスラと暗唱している。

「すごいな」という印象を与えている。

イ 五年のときに覚えた詩文「君死にたまふことなかれ」「平家物語」「曽根崎心中」など覚えている子たちに発表してもらっている。

ウ 新しく暗唱する「小諸なる古城のほとり」では、教

師の音読の後に追いかけて一斉読みをさせる。その最中、向山氏は暗唱している子を見つけており、練習後その子に範唱させている。

エ 次に、やさしくおもしろい詩「お経」をとりあげる。「お経」のようなおもしろさに気づかせるために、はじめは普通の読み方で一斉音読をさせた。そして、次にお経のようにのびして読ませている。ここでは、対比して読ませたのがポイントであった。

四、五、「ひゃ」「ひゅ」「ひょ」、「みゃ」「みゅ」「みょ」がつく言葉をさがし出す。

まどみちおの楽しい詩「あいうえお」を一斉音読します。こうしてまず、楽しい雰囲気を作ってから、子どもたちや参観者が考える場面を次のように設定していきます。

指示 1

ひゃとひゅとひょがつく日本語をノートに三つずつ書いてください。

指示 2

みゃ、みゅ、みょのつく日本語をノートに三つずつ出してみて下さい。

ここで配慮することが何点かあります。

ア 言葉集めをする時間は一〜三分間ぐらいとっておく。

一分では短かかったようだ。

イ 答えとなる言葉は、「日本語」であり、「国語辞典

にのっている言葉」ぐらいと限定する必要がある。

ウ 三〜五つほど書けたら、黒板にどんどん書かせてい

く。初め 列指名などで限定し、あとは自由にする。

このみゃみゅみよの授業のメインになるところであり、

時間をかけるようにして下さい。



●本誌編集長 向山 洋一

国語の授業参観

私は授業参観が好きだった。子ども達が楽しく、知的な授業をしていると、親達はうれしそうに見ていたからだ。

終わったあと、たくさん感想ももらった。北陸の若き教師は、最初の国語の授業参観には、向山実践で組み立てたという。

■以下報告

最初の授業参観は、以下の流れで行った。すべて向山先生の実践だ。

1. 漢字スキル(収・存・派)
2. 百人一首(3回戦)
3. 話す・聞くスキル

①寿限無

②平家物語

4. 「みや・みゆ・みよ」がつく日本語
5. 授業の感想を指名無し発表(全員)

授業のほぼ全てに「向山型」のエキスが詰まっている。

① 漢字スキル。授業開始と同時に始める。「漢字スキル3をやります。今日は、収から派の三つです。始め。」

この瞬間、子ども達が指書きを始める。保護者は呆気にとられる。学習のシステムが入っているから。そして、指で空中に書く空書きでのチェック。教師がチェックした後、保護者の方を向かせてさせる。

この時点で保護者はニコニコしていた。自分の家の子が堂々と空書きをしているのだ。ちゃんと空書きが出来て、安堵の表情を浮かべる保護者もいる。

「ボロが出るといけないので、この辺でやめにします。」

この言葉で場の雰囲気が変わる。

② 五色百人一首をす。一試合数分で終る。
1回戦は、ゆつたりとしたスピードで読んだ。
2回戦は、一枚札の最初の一言を言うなどの変化をつけた。
3回戦は、超高速で読んだ。
百人一首はいつやっても熱中する。

3回戦では、どよめきが起った。おそろく、私の読むスピードに子ども達がついていっているからであろう。

③ 話す・聞くスキル。平家物語などの暗唱。子ども達の元気な声がこだまする。後で保護者から聞いたのだが、私以外のクラスは静まり返っていたようだ。

④ 「みや・みゆ・みよ」がつく日本語をさがす授業。毎年必ず追試する。子ども達が頭をフル回転させる。そして、保護者も頭をフル回転させる。

保護者同士、相談する姿が何度も見られた。「ひゅ」がつく日本語、「みゅ」がつく日本語がなかなか見つからない。どちらも日本語には、2つぐらいしかない。私は挑発する。

「降参ですか？ 答えを言いましたよか？」
「みんなには無理だから、まいった、降参したと言いなさい。」

子ども達は言う。「だめです！ 降参しません！」
このやり取りがたまらなく楽しい。

途中、指示を出した。「お家の人なら知っているかもしれません。」

「お家の人の所に行つて相談してきてもらんなさい。」

この言葉で子どもは一目散に保護者のもとへ走る。しかし「みゅ」がつく日本語は出ない。

さんざんじらして解を示す。子どもも保護者も「はあー!!」と声を漏らす。指名無し発表だ。

⑤ その後、授業の感想を発表させる。ここでも子ども達は全員が発言する。以上のような流れで授業を終えた。

学年懇談会後。保護者の感想。「先生の授業、本当に楽しかったです。兄弟がいて、下の子のクラスも見に行つたのですが、先生のクラスの方に釘付けでした。」

こんなこと言つては失礼かもしれませんが、他のクラスの子も達は眠たそうに授業を受けてました。でも、6年4組の子も達は本当に楽しそうでした。やっぱり先生の授業のテンポが良いからだと思えました。」

多くのお褒めの言葉をいただいた。これも向山型のおかげだ。

やはり、向山型は最高だ。

Handwritten text on a grid background, organized into three columns. The text is written in a cursive style. The first column contains approximately 15 lines of text. The second column contains approximately 15 lines of text. The third column contains approximately 15 lines of text. There are some large, stylized characters or symbols interspersed within the columns.

Q2 保護者を魅了した 参観授業は どんな授業ですか

〈向山〉 授業参観の時、良い授業をするのは大切です。

親が教師を理解し、そしてクラスの雰囲気や自分の子どもを理解する場だからです。

よく「特別に準備をしないで、普通の授業をすればいい」という人がいますが、私は反対です。準備をしなくても、良い授業ができる人であれば問題ないのですが、そういうことを言う人に限って、参観日に計算練習などをさせているのです。

◆親は、教師のことをよく見ているものです。ある学校で、法則化の教師が担任だったクラスが、民教連の教師のクラスになりました。親は、授業参観の後「先生、漢字を教える時は筆順も教えていただけませんか」と頼んだそうです。親は「赤ねこ漢字スキル」を理解していたのです。

民教連の教師は、筆順指導などたいしたことではないというようなことを言って、親のひんしゆくを買ったそうです。

親たちはまた「授業をもっと楽しくしてい

ただけないでしようか」というようなことを頼んだそうです。

頭にきた民教連の教師たちは、若き法則化の教師たちを、つるしあげたそうです。――

学級通信に授業のことを書くな――とか――変な教え方をするな――とか言って……。

◆法則化運動が開発したり紹介したりする授業を上手に組みあわせれば、私は、どの教師でも印象的な授業ができると思います。

例えば「うととこ」をやったことがありますが、大変な人気でした。

第三連をどう作るかという問題では、親が手をあげたほどでした。

胎内にいる赤ちゃんのスライドの勉強から生命の授業への接続も親に好評でした。

前もって、生れたときの体重、身長を全員に調べさせておいたので、どの子も参加できました。

◆授業参観の時は、普通の授業を少し加工します。

どの子も活動する場面もとり入れます。短い朗読などを全員にさせます。

漢字の指書きも全員にさせます。「お母さんへのサービスタ。まわれ右してやろう」といって、顔を親の方に向けさせてやります。

五字ぐらいやったところで「あまりやるとポロが出るから前を向こう」などと言って前を向かせます。親たちから笑いがおきます。

でもこの時に、親は自分の子どもをしっかり見ているはずなのです。

授業者の視点

の視点

1 授業参観で「教師が参観」の場合と「保護者が参観」の場合では、授業の組み
5 立てが違ふ。

10 保護者の参観の場合は、可成りこの辺りもかき混ぜ活動と一とあり、一回はつうス
15 全員のシートに赤丸をつけてもらう場面が必ずあり、ゆとりがめいめい、参観の
20 教師から、おめでとうに丸をつけてもらうこともあつていい。(今日、又さて

25 ちい人は、先生があんなかゆりに丸をつけてますという所友が必ずだが、
30 授業者は、知るふりやすい内容、新しい知識などの工夫がいろいろ。
35 教師が参観という授業は、授業者が知るであり、付属する校の授業者
40 はサテッチでも三例にらに調べて、とり入れておくことか必要だろう。

10 (向山は、日本を代表する附属下の学校例と下宿以上調べ、さける上まわる内容
15 にするようにならなくていい。多分、日本を初めて授業者というところに、このあたり
20 である。)

25 例えの「アリンコ」^{さいしん}の理由が、日本を初めて授業者は、大海道、まじな、高
30 知ちのりうち、この理由が、その理由は、何とでも、たが、
35 ちちおみにかつこうの理由は、本には出ていなかった。まじな史、高知半史を

17 どの存在に本を注ぎ、読むのと見つからぬに。
15 また「青春史のりんごが、青春史外に出すための、この地域か、とあるか、

1 17
5 10
15
20
25
30
35
36

(株)東京教育技術研究所
〒142-0064 東京都品川区旗の台2-4-12 FOSSビル
電話 03-3787-6564 FAX 03-5702-2381

「トークライン」原稿用紙A1判
36字・17行・1段

2019.12.19

17
 1 車中から見送っていた
 5
 10
 15
 20
 25
 30
 35
 36

15
 1 車中の人々は、手とふりて送った。
 5 手とふりて、
 10 手とふりて、
 15 手とふりて、
 20 手とふりて、
 25 手とふりて、
 30 手とふりて、
 35 手とふりて、
 36 手とふりて、

10
 1 地球によって、立場によって、見方が違ってくるのである。
 5 立場によって、立場によって、立場によって、立場によって、
 10 立場によって、立場によって、立場によって、立場によって、
 15 立場によって、立場によって、立場によって、立場によって、
 20 立場によって、立場によって、立場によって、立場によって、
 25 立場によって、立場によって、立場によって、立場によって、
 30 立場によって、立場によって、立場によって、立場によって、
 35 立場によって、立場によって、立場によって、立場によって、
 36 立場によって、立場によって、立場によって、立場によって、

5
 1 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」
 5 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」
 10 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」
 15 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」
 20 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」
 25 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」
 30 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」
 35 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」
 36 戦争がもたらした「一つの巨大な事実である」

1
 1 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に
 5 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に
 10 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に
 15 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に
 20 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に
 25 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に
 30 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に
 35 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に
 36 南東部の豊かな農家はよく知られている。戦争後の困窮に

1 11-15のニルと 2023年11月15日

5 11-15のニルと 2023年11月15日

10 11-15のニルと 2023年11月15日

15 11-15のニルと 2023年11月15日

20 11-15のニルと 2023年11月15日

25 11-15のニルと 2023年11月15日

30 11-15のニルと 2023年11月15日

35 11-15のニルと 2023年11月15日

36 11-15のニルと 2023年11月15日

向山洋一「詩文の授業」

長谷川 博之

一・向山洋一氏に学んだ参観授業の心得

2022年4月8日、中学1学年主任兼担任として120名の新入生を迎えた。

1時間半余りの入学式の後、会場で行われた学年保護者会で一言挨拶を述べた後、教室に走った。

最初の「授業」、そして「授業参観」に挑んだのである。

六つの小学校が一つの中学校になるという滅多にない環境下で級友や教師と出逢い、入学式を経験した子供たちは緊張し、疲れていた。

意志力も持続力も、そして体力も、残り半分を切っている状態である。

そういう状態で色々と教えても、定着することは想像以上に少ない。

しかも、週明け月曜日、火曜日には特設学活がある。大切な事柄は、そこでじつく

り扱うことができる。

そこで、30分間で二つのことしかしないと決めた。

(1) 丁寧な確認つきの資料配付

(2) 「学校の目的」を考える授業

子供たちの状況をひと目見て、前者にかなりの時間がかかることが容易に想像できた。作業系だから、脳はそれほど疲れない。やり切れるだろう、と考えた。

そして、残り五分弱で後者に入ると予想した。

膨大な資料群を、一つずつ確認しながら配付していった。最初にしたのは、ヘルメットのシール貼りである。作業指示、活動、確認、評価。このサイクルを回す。

このタイミングで学年保護者会を終えた保護者が続々と入室、入り切れない人はベランダや廊下から参観する形となった。

凜とした空気の中、記名や話し合い等、作業スピードが徐々に上がっていく。

最後の3分間で、「指名なし発表」の紹介をし、「学校の目的」三つを問うた。

□くなる □くなる □くなる

名前を呼び、やりとりをしながらホワイトボードに書いていく。

子供が発した「ヒントをください」の一言を受け、四角を文字数で区切る。

指名なしで真つ先に答えたのは、某小学校きつてのやんちゃと評される子供だった。

彼は「学んで」と言ったのだ。前面に掲示されている学校の教育目標に視線を飛ばしていた。「賢い！」と褒めた。

「学び、勉強するとどうなるのですか？」と引き取った。「かしくくなる！」と数名の声が返ってきた。

その後が難しい。教室後方で見守る保護者にも、窓の外の保護者にも水を向ける。突然のことに、驚いている顔が多くあった。

再び子供を相手に、「コミュニケーションを取ると、どうなりますか？」と問うと、先ほどよりも大きな「なかよくなる！」が返ってきた。

ラストだ。保護者も考え込んでいる。「心も体も鍛えて、どうなる？」と告げた。

難しい問いだが、「たくましくなる！」が返ってきたのだ。

「この3点を実現する一年を、共につくっていきましょ」

これで最初の学活を終えた。参観する保護者からため息と歓声が沸いた。

一番早く登校した子供の明るい号令で、1年1組の初日が幕を閉じたのだった。

前方入口で子供たちを見送っていると、一人またひとりと保護者が感想を言いに来た。中には、「こういう授業なら私たちも受けたい」と盛り上がっている人たちまでいた。御礼とともに、いつでもお越しくださいねと述べつつ、最後のひとりを見送った。

と、シンプルな出逢いの30分間を再現したわけだが、この30分間にも向山洋一氏からの学びがぎゅしりと詰め込まれている。

とりわけ大きな、学ばなければ実行できなかつた点がこれである。

授業に保護者をも巻き込むこと。

20代からずっと追試しているが、一度たりとも嫌な顔をされたことはない。それどころか、楽しかった、また参観したいという声が多数届くのだ。

もちろん、保護者を指名するだけでは駄目だ。保護者は我が子を見に来ている。

その「我が子」が学習に意欲的に取り組む姿を見ればこそ、担任に信頼を寄せ、応援団になっていくのである。

一人ひとりをどう活躍させるか。意欲的に取り組む姿をどう生み出すか。その点でも、向山氏の参観授業は学びの宝庫である。

ちなみに、出逢いの日のこの30分間で私は学級38名全員の名前を呼び、やりとりをしている。これもまた向山氏にご指導いただいたことであることを付記しておく。

二・追試の際の着眼点

1993年、『教育トークライン』創刊の年の、向山洋一氏の授業参観記録である。

向山氏による「授業の概要」に、「はじめて市販の『詩文集』を使ってみた」とある。音声データの最後には「通例ならば二つのことを取り上げてゆつくりとやるわけですから

ども」「詩文集をお金を出して買ってもらったということがありますのでいろんな面で突っ込んでみました」とある。

4月の最初の授業参観である。向山氏は「できる限り多くの作品をとりあげ、バラエティーに富んだ授業にし」た。何のためか。その方が、「いろいろな子どもが活躍できる」からである。既に暗唱している子供たちのその事実には保護者が驚く場面もある。わずかな期間に学習成果が上がっているという事実で、保護者は教師を信頼するのである。

新出漢字の空書き、既習事項の復習も兼ねた詩文の朗読、暗唱と進み、場が十分に温まったのを見極めてメインの「ひやひゅひよ」「みやみゅみよ」に突入する。

作業指示の後、どのくらいの時間考えさせるのか。子供の発言にどう対応するのか。やりとりのペースに緩急はつけるのか。保護者を巻き込む際にはどのようなフレーズを、どのような順番で用いるのか。エピソードはどう語るのか。授業の締め括りはいかにするのか、等々。

追試にあたり注目すべき点が目白押しである。ぜひ実践を。



特典 No.01 | 2023年12月

向山洋一 教育資料

1993.4.22 6年授業参観「詩文の授業」

特典音声

<https://vimeo.com/891078878/8b23314718>



発行日 2023年12月8日

発行所 向山洋一教育技術研究所

所在地 〒142-0064 東京都品川区旗の台2丁目4番12号



谷和樹の教育新宝島

<https://shintakarajima.jp>



向山洋一公式ウェブサイト

<https://mukoyamayoichi.com>

このPDFは、プリンタの「冊子印刷」を選択すると冊子になります。
他人への譲渡および個人研究以外の目的で使用することを禁じます。